

# 新聞を見出し

## 学ぼう



新聞の見出しは記事の要点を簡潔に伝え、読者の関心を本文に導く「案内標識」の役割があります。さらに、見出しの大きさによって、ニュースの重要性が示されます。

見出しを付けるのは記事を書く記者ではなく、割り付け（レイアウト）などを担当する整理記者の仕事です。整理記者は記事を読み、要点をおおむね十文字前後で表現します。

読者を引き付ける見出しを考える整理記者



上最高タイの積雪量もさることながら、三百台もの車が国道で長く立ち往生した事実を強調し、異常な事態であることを伝えました。見出しは読者の関心に大きく影響しますから、整理記者は限られた時間の中で常に頭を悩ませています。「いまひとつインパクトに欠けるな」「もう少しセンスのいい表現はないか」。

## 読者を導く「案内標識」

記事を書く記者は、最初の読者ともいえる整理記者が見出しを付けやすいように、一読してニュースのポイントが分かるような文章にまとめなければなりません。一方、見出しを付ける記者も記事の内容を速やかに読み取り、正確で分かりやすい言葉に要約する能力が求められます。

昨年暮れ、会津地方を中心に記録的な大雪が降った時の福島民報の一面のメイン見出しは「豪雪、300台一夜明かす」でした。観測史

一つの見出しをめぐり、デスクや書き手も加わって激しい議論が毎日、交わされています。